落日のパトス
Rakujitsu no PATHOS
艶々
10
ヤングチャンピオンコミックス
YC COMICS

RAKUJITSU-NO-PATHOS

落日のパトス

10

Presented by
Tsuyatsuya

ヤングチャンピオンコミックス
YC COMICS

RAKUJITSU-NO-PATHOS

[初出]
別冊ヤングチャンピオン
2020年5月号～2020年11月号

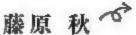
RAKUJITSU-NO-
PATHOS

［ここまでの「落日のパトス」は］

漫画家を目指す青年・藤原の住む部屋の隣室にかつての恩師・仲井間が引っ越してきた。
同じアパートの〝隣人〟として交流を始めた二人…。

仲井間が新アシスタントの末岡とディナーに行くのを阻止できず、モヤモヤしている藤原に、まさみから明かされたのは末岡のチャラすぎる過去だった。結果的に末岡が酔い潰れてしまい、仲井間は事なきを得るが、膨張する不安と妄想を経て、藤原は自分に仲井間への好意が芽生えていることに気づき始めるのだった。

後日、しばらく藤原と会わないことを気にしていた仲井間は臨時アシスタントとして藤原宅を訪れたものの、中に入れなかった若妻・エリを一時的に部屋に招き入れる。『レス』だと嘆く仲井間にエリが差し出したのは、オトナの玩具だった…。

初めて感じる、常識を凌駕した快感…。レス状態が続いていた仲井間は忘我の境地に達し、小刻みに振動する玩具を使い続けて…!?

Aki Fujiwara

漫画家の青年。仲井間にかつて犯した行為を後ろめたく感じていた。普段は物静かな性格だが、性的な好奇心は人一倍旺盛。

仲井間 真

Makoto Nakaima

旧姓：祐生。藤原の高校時代の恩師。現在は結婚し、退職。夫の仕事の都合で藤原の住む町に引っ越してきた。年の差婚で、男性経験は夫ひとりだけ。最近、夜の夫婦生活に物足りなさを感じている。

神保まさみ

Masami Jinbo

藤原が大学時代に所属していたサークルの後輩。現在は藤原の仕事を手伝うアシスタント。垢抜けない感じの少女だが、胸が大きくスタイルは良い。藤原のことを狙っている。

高杉ミツアキ

Mitsuaki Takasugi

藤原のもとで働く新人アシスタント。3次元の女性には全く興味のない童貞。要領が悪く不器用。神出鬼没で突然現れることが多い。

筧 エリ

Eri Kakei

末岡が出会い系アプリTenderで出会った24歳の人妻。とても陽気な性格で気が遣える。高校時代に漫研に所属していたためアシスタントとしても大変有能。

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

第66話
アレをアソコに
アレですか？

いやー
ほんと
エリさんが
来てくれなかったら
どうなってたか…
あれから
2日であがる
なんて
ほんと
ありがとー!
いえいえー
ウチも
楽しかったっス
いやーほんと
ミツアキくん
だけだったら
どうなってた
コトか
しかも
スゴイ勢いで
帰っていった
っスね
うん
そーゆートコ
そーゆートコ!
だよなァ カレは
あ
そういえば
――

センセーはお隣さんと仲良いんスか？
ドキッ
え
なっなんでっ
だってあんなに気にしてたしー
いやっ…そのまあ…
仲良くはさせてもらってるっていうか…
いい…ひとだしね
まあ…仲良い…っちゃ…良い…かな……？
あ
ちょっと待っててくださいな
え
旨味がたっぷり
おまたせおまたせー
たたっ
旨味がたっぷり

これ僕の
ねーさんに
あげて下さいっス
ガサッ

……？
栄養ドリンク？

――っス！
たぶん
喜ばれるっスよ

そいじゃー
またー！
はーい
おつかれさまー
ありがとー

……

先生…の
トコか…
まあ会いに行く
いい口実が
できたといえば
そうなんだけど…
トッ
トッ
トッ

……なんか…
ちょっと意識
しちゃう…
ってのも
あるし
ひょっとして
先生のことが
好きなのか・な

…でも
なのに…

疲れていたとはいえ…
…僕って…いったいどうなってんだ…
まさみちゃんとのあんな夢見るとか……
ひょっとして僕は…
とんだクズ野郎なのかな…
…まあとりあえず考えないようにして…
そう…エリさんに頼まれたから…
そうさ

ピンポーン
はーい…
パタ パタ。
パタ パタ…
ガチャッ
あっ………
ギィ…
アキくん…？
!?

どうしたんです?
そんなに目にクマつくって…!?

……っ
かあああああ

あ…ん…
えっと いやちょっと…べつに
は?
どうしました?

ガッ
──あっ
あ!?
ガクッ
ズドッ
先生!?
……………

なっ…
なんでも
ないの…
ちょっとヒザが
笑っちゃって…
ヒザ!?
なんで
そんなことに
ほら先生っ
ポン

ひ
ビ
ク
ッ
Salmonster
えっ…？
え？
はっ
は
はっ

?
……
?
ほら
先生…
ひゃんっ
ビク
ポ
ビクン
Salmon

!?
?
だめ…
アキくん…
ぷるぷる
いま…は
は
は
ッ
……ッ
ゴクッ
Salmon

ポン
なんだ…？
ビクン
あっ…
なんだ!?
ビクッ
ポン
あ
ポン
ビクン
ビクン
ああっ
なんだ!?
ひっ
ん
ビクッ
ひあ

なんだこれ
あん
ビクビクビク
ひんっ
ビクッ
先生が
先生が
いつもより
ああっ

なんだか艶っぽい!!
や…
はぁ
はっ

も…
もう少し…
もう少し…
ドドド…
やめてっ
ビッ
ビク

あっ…
あああ
あの…っ
おっ…
怒られた
……！
しかも
ガチめに
……！
違うんです
…僕は…
その…っ
大丈夫
かなって
あ……
いいま
アキくんに…
触られるの
……
イヤ
ガバーン
ヨロ…

拒絶された…!!
はじめて…こんな
きっぱりと…!
きょぜつ…
あ…
いえ…その…
ちがうの
今は…
っていうか…
いまだけ…っ
その…
アキくんが
アキくんが
イヤなんじゃ
なくて…
困るって
いうか…
アキくん
だから…
……?

あ…
あっ
そうだ
これ…
あの子…
エリさんから
先生にって…

ガサ
なんか…
栄養ドリンクを
……って

…………
かあ〜〜

なにか…
聞いた…？
へっ？

あの子から……なにか
……こう 貸した…とか
？
いえ
なんです？

いや…
うん…いいの…
それなら…
ありがと…
ガチャ
あっ
なんか…
イヤだ…
モヤッ
このまま
悪い空気で
終わりたく
ない…！
先生っ
!?

僕 それ中まで持ちますからっ
ヴィ
ヴィ
え!?
こんな小さいのべつに…
いやいや遠慮しないでくださいって
いやそうじゃなくって…
なんとか仲直り……というか
先生に機嫌を直してもらって…
はいっ
こっちの台所に置いておきますねー
勝手知ったる同じ間取り
あ…ほんとっ
そっちは…
いいからっ
だめっ…ってそんなァ…ここで前一緒にご飯とか…

アキズームアイ
キュイイイイイ

その、刹那

すでに全てを理解しはじめていたのだった

僕は

第67話
コレがオトナのオモチャってやつなの?

いや…まあ
そりゃ…
うん…疲れますよ…ね…
いや！だから！ちがうから！
私のじゃないし!!
・・・あのコが勝手に置いていっちゃったんだから！
ねぇさ～ん
ハイコレ♡

そうよ…！
よく考えたら
別に使ってるトコ
見られたわけじゃ
ないし
ゴリ押しで
否定するのみ!!
もう
これ以上…
アキくんに
醜態を知られて
なるものか!!
ズ…
…

〜〜〜〜っ!!
ん〜〜〜〜
んくんく
んくんく

なにしてんの
ようッ

いや…
だって…実は
僕も実物見るの
はじめてで…
だからって
嗅ぐ!?
匂い嗅ぐ!?
ぷる
ぷる
えへー

…それにしても
エリさんと
ずいぶん仲良く
なったんですね

ま…
まあね

最初はね ちょっと びっくり したけど
距離感 つめてくるし
話してみたら いい子だしね
あーねー
あんな オッパイ 放り出したような 服着てねー
………
………
あぁん？

――で… エリさんが なぜこれを…
先生に…？

えっ…
それ…は…

………

…ていうか
アキくん
コレ知ってるんだ？
……どういう道具か

えっ…
えーと…
うん
マッサージ機ですよね？
──ッ
そっ…そう!!

マッサージ機だから！ ね！
同じ主婦として家事に疲れた私に！
ね！
彼女が！
ほら肩凝りとか気遣ってくれて？
ははあ…なるほど
そんなに凝って…
ええもうそりゃーねェ！
家事疲れっていうの？
……僕
これが動いてるの見た事ないんですよね
だから…

それなら僕が
コレ使って先生の肩
ほぐしてあげますよ

しまったアァア
えっ
…あっ
いや…

スススッ…
ほらほらほら リラックスしてくださいよう
ちょ…
えっと でも…
アキくん いつのまに そんな 誘導話術を…!!
べつに
自分で…
ガタッ

あ〜〜〜〜

純粋に これ…マッサージ機と…
いやマッサージ機だけども!!
ヴヴヴヴヴヴヴヴヴ

なんか疑って悪かったな…
じゃあ先生
ん?
ヴヴヴヴヴヴ

デコルテラインもキてるでしょー?
スッ

あ…
あ

あ…
あ
デコルテ
ちがッ
そこっ
ちが
おっぱ…っ
ひ

はぁ
だって 先生…
あ
はっ
こんな…おっきいと きつと…
付け根も凝って…
はぁ
ああだめ
ひあ
ガタ
ああ…
さっき
ついさっき

アキくんに見られながら
なぜかハダカのアキくん
こんなコトするのイメージして
してたとこなのに…ッ
ひあ
あ
だめ…
だめだよ…ッ

いやっ…だから…ッ
あ…
あ？
あ…あああ
だめっ…
よけい…
だめえええ
アキくんにされてるって
ヴヴヴヴヴヴ
はっ
そこはだめだようう…
す
す
アキく…
はっ
アキくぅん…
ああっ…
はぁ…ッ
ア…アキくぅん…
現実…ッ
ああ

あ
アキくんに
ああ
アキくんの手で
あ

ああ
だめ…ッ
また
濡れちゃう
あ
ん
あ…
ああ
先生…
!!
ヴヴヴヴ
はっ
は
すごい…
そんな
エロい…
は
エロすぎ…っ
ヴヴヴヴ
あっ

はう
Salmon
は
はっ
…ずるいよ アキくん…
はっ
いつも… 私の… ばっかり こんな…
はぁ

アキくんだって…いっしょに
あ…
は
はぁ
あ
ブルッ
ブルッ
!?
せんせ…っ
ああああ
そんなこと…したらああ…
ビクッ
ブルッ
ブルッ
ビクビクッ
えっ
いっ…
え？
あっあっ…
あ
あ

あ…
ああ…っ
はっ…
ガクン
ビクッ
ビクッ
え？
え？
ビクッ
ビクッ
ヴヴヴヴヴヴ
ビクッ
ああああ…
ゴッ
あっ…
えっと…
いまので…？
一発で…？
………
…だ…
すぁ
だって…
先生が…
すぁ

いつもより
なんか…すごく
エロいから…ッ
ぐずっ
ぐず
ぐずっ
ああ…
……
アキくんは
……
エロいことへの
欲望とエグさが
どんどん上がってる
けど…
えっ…
でも
生物として
どんどん
弱っていってる
よね…
アキくんの
このカオを
思い出して
今夜もまた
使っちゃうかも
しれない…

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

4コマのパトス

デコルテラインもキテるでしょ〜?
はっ

しまった……!
油断させたところでおっぱいを狙う作戦だったのね!?
あ……っ

デコルテラインはリンパがたくさん集まってるんです
なのでデコルテマッサージをすることで肩コリ、シワ改善小顔、むくみに効果的でオススメなんです
メリットだらけ

本当はマッサージ機じゃなくてローラーとかがいいんですけど……って先生?
どうしました?
なんか疑ってゴメン

第68話
ニブチンで優しいって罪ですよ？

大丈夫です－ ここからまくって ちゃんと締切りには ……ハイ
ハーイ よろしく お願いしまーす

はあ……
とうとう心配されるようになっちゃった…
いよいよ余裕なくなってきたなァ…
しかし…
始めた時は一か月分の猶予があったのに…
スタート三話目にしてもうストックなし……
どころか押してる始末…
しかも…今回は一休が予定があって入れないって言うし
ちょっとヤバイ気もする…
一休＝カズヒデ
デートがあるんだも〜ん
あんなのでもいないとキツイ…

はあ…でもやるしかない…
間にあうのか…
とさ…
しかし……
この状況…!!
漫画家ってこういうこと…
一生続くのかな…
………
………
ヱヱヱヱヱ…
あっ

はいっ
もしもし
バッ
お久しぶりです
センパイ!
えっ
はい
なんとか
ネーム通った
ところです
いえいえ
アハハハ
えっとね
仕事の前に
なんなん
だけど…
えっ
ちょっと
そっち行っても
いいかな?
あっ やっぱ
まずいかな?
いえー
大丈夫
です!
どれくらいで…
あ…小一時間?
わかりました!
ハイ!
待ってます!
大丈夫ですから!
ハイハイ!
では!

センパイ……！
なんて見透かしたようなタイミングで……
じーん…
折れかけてた心がいままっすぐに
——そうだ！
シャワー浴びなきゃ！
こんな臭いカッコじゃさすがに……！
ブルンッ
……
ノーブラだった…

ガラッ
はああ……
それにしても…
センパイ
なんの用事だろう
シャアアアァァァ

デートのお誘いとか…？
いやいやこれから原稿って時にそれはないいか
大体そんなのセンパイらしくないし…
そういえばセンパイと会うのって…
二か月ぶり…？三か月？
前はずっと一緒に仕事してたのに…
久しぶりにこんな風に会うとなると
なんかキンチョーするなあ…
……おっ…
別に…意味はないけど…
ちゃんとしとこうかな

まあ
別に…
なにもないと
思うんだけど
ショリ
ショリ
ショリ…
ああでも
なんか
こういう
〝女〟としての
お手入れも
久しぶり
ショリ
ショリ
連載が
始まってから
なにもかも
余裕なかったし
センパイがきて
私がその直前
こんなコト
してるの知ったら
どんなカオするだろう…

センパイがくるっていうから
別に見せるわけでもないのに
こんなトコ整えてるんですよ…?
うわヤバイ
ずっと
――でもセンパイなら
こういうの忘れてたけど
もしセンパイがそういうなら…
あだからか?
ふふ
アキセンパイだから……
久しぶりにちょっと
エロ脳が

チュピッ
ピチャッ
あ
私の中の「女」が
還ってくる
ピチュッ
あっ
あ…
クチュ
チュクッ

んん…ッ……
ん……
んん…

はっ
……………
はぁ
はぁ
久しぶりにこんなコトしちゃった…
な…
ハハハ…
——って！こんなコトしてる場合か!!
センパイきちゃう！
ダ
ダ
なんも片付けてないのに！
ヤバイヤバイヤバイ

やー
久しぶりだねー
まさみちゃん
元気にしてた?
おっ…
お疲れ様です!
ほんと
久しぶりですっ
元気ですっ
やー
ごめんね
急に
わー
ありがとう
ございます!
あっ
どうぞ
どうぞー
あ これ
差し入れ
わー
まさみちゃんの
部屋初めて
だよねー

おお仕事部屋に女子感がプラスされてなんともいえない…
なにわけわかんないレビューしてるんですかー
でもなんかもう匂いから違うし!
スピ
スピ
フガ
キャー
やめてーー
ああ…
センパイのこういうほんわかした空気…
あははじょーだんだよ
久しぶりで…
ほんと癒される…
いいですよー空気だけなら
いくらでもどうぞー

でも実際どう？
ちょっとキツイんじゃない？
………
えへへーわかります？
まあねー
ちょっとクマできてるし…
ギクッ
ハッ
僕もそうだったからわかるよー
仕事と一緒に自分の身体も
軌道にのせるのが時間かかるんだよねー

そうなんですよねー
そのへんのサイクルがなかなか…
あ…もう昼だ…
おきなきゃ…
ネームやんなきゃ…
おきなきゃー…
突然眠くなっちゃったり
ダラダラしちゃったり…
逃避活動
ただ僕の時はね
まさみちゃんとゆー有能なアシがいてくれたからさ
そんなーほんとのことー
やーん
ピロロロロロ
ピロリロ
うんでね…
あ
ちょっとごめんね
ハイ
あーもしもしっあっ　わかった?
うんうんそこです!
その二階の203号室で…ハイ来てください
ん!?
え!?なにここ?ここって!?

えっと…センパイ
あの…ここに誰か…?
あ…うん!
話が前後しちゃってゴメンだけど
まさみちゃんに紹介したい人がいて…
ピンポーン
あっきたね
あっ僕が出るからね
は…はァ…

まさみちゃんじゃあ紹介するねー

覧エリさんだよ
はじめましてーエリでーッす
えっ………

紹介…？紹介ってことはなに…？
センパイの……センパイが
わざわざ紹介って…
実は今度この子と結婚することになったんで――
あはは
妻を紹介にー
とか…？
オッパイでかいし…
うそ……そんな…ッ
そんなッ
にゃあっ
この間わずか0.5秒
…さみちゃん
まさみちゃん……!?
は…っはい
んで あのね
はーはー

まさみちゃんとこのアシスタントとして
この人入れてあげてくれないかなー と思って…
おねがいしたいっスー
えっ……
アシス…タント……ですか
この前うちにもヘルプ入ってもらったんだけどね
技術は充分だと思うんだけどほら
うちはミツアキくんやカズヒデもいるしさ
それに女性作家には女性アシさんのほうがいいかな……って
………じゃあセンパイ

そのことで…わざわざ?
いやぁ お節介かなーとは 思ったんだけどね

やっぱ… 大変なんじゃないかな…って
一人は
………

ありがとうございます…!
正直
期待してた展開とは違ったけど
なかなかフリーダムなんだよ
フリーダムっスネー
フ…フリーダム……?

あ でも
それじゃあ
いきなり今日
手伝ってもらっても
……いい？
あー
ぜんぜん
オッケーっすよう
やっぱり
センパイは
優しくて
そして
すごーい
エリさん
エヘヘー
ほんと
上手いねー
助かるー
やったー
カリ
カリ
カリ
カリ
カリ
センパイの
とこは
どうでした？
あー
やーけっこう
大変そうっスよ
ミツアキくん
ってコ
使いもんに
なんないしー
あーねー

でもあの
藤原センセは
やさしくって
いいひと
つスね
――うん
そして
時々
いいひと
なんだ
誇らしい
だから
好きなんスか?
は!?
いやっ…
えっと なに
いってんのか
あ やっぱ
そうなんスね
えっとごめん
なにいってるか
よくわかんないな
ハハッ
ハハハ

RAKUJITSU-NO-

PATHOS

4コマのパトス

どれくらいで…
あ…小一時間？
わかりました！
待ってます！

シャワー
59:57.36
ドリンクの空きビン
残り一時間…!!

部屋の片付け
台所の片付け
18:31.27
メイク

やー久しぶりだね～
おっ……お疲れ様です
元気です

5日前―――
――はい
あ
エリさん？
いやあー
この前は
ありがとねー
どしたの？
今日は
え？
漫画の
アシスタント
口…？
そーなんス
よー
正直
最近漫画の
お手伝い
してたら
ちゃんとまた
漫画の仕事が
したくなってー
エヘヘー
ああ
いいですねー
エリさん技術
あるしー
第69話
ファーストネームで
呼んでいいですか？
でもいま
うちは2人
いるしなァ…
ッスよね
―――…
あ！
そうだ！

そして4日前
——というわけでね
まさみちゃんとこのアシスタントとして
この人どうかな——と思って…
アシスタント…
お願いしたいッスー

トントン拍子に話は進み
ありがとうございますー
がんばってねー
それにしてもセンパイ
私のことまで気遣って下さって…
ほんとに感謝です！
忙しいのに周りにまで気を配れるなんてすごいですね！
いやあ――
あっはっはそれほどでもー
自分の株をあげていい気分になっていた
でもセンパイ大丈夫なんですかー？
えっなにが？
――のだけど

カズヒデが
今日から
女と旅行だから
来られないぜ
…って
言ってたから…
それで
ウチも
ピンチに
なったし
センパイのとこ
大丈夫なの
かなーって
あ――……
………
大丈夫に
きまってる
じゃないか
だ
ですよね!?

うちは
それを見越して
今回は前倒しで
進めてるからさ
ハハハ
大丈夫
大丈夫！
さすがですね
センパイ！
それじゃあね
ハーイまた！
お互い
がんばりましょう！
大丈夫
……！
ドキ
ドキ
いまからちゃんと
予定通り
やれば…
やばいやばい
やばいやばい
たしかに
カズヒデ
そうゆってた!!
ごめーん
大丈夫
大丈夫！
間に合う
間に合う!!

そして今日――

やばい……
まったく全然進んでない……!!

なぜ…なぜあそこで正直に言わなかった……?
言えばまだエリさんを…
プルプル
……
だって…!!
あそこでそんなのカッコわるいし!

ハァ
………しかたない…
ハァ
ほとんど役に立たないとはいえ…
ミツアキくんといっしょにがんばるしかない…
……ん？
そういやミツアキくんおそいな…
もう昼なのに…
あ
ウワサをすればLIME…

す すんませんっス
朝になって熱っぽくて…
申し訳ないっスけど
今回はお休みさせて下さい
先生に風邪をうつす
わけにもいかないの
ゴホゴホッ

ア゛あ゛あ
す…す

なんだよこのタイミングで熱って!!
くるくるくる
いてもいなくても役に立たないだけに余計ハラ立つ
だいたいLIMEでゴホゴホってなんだよ
AIかよつまんねぇよッ
ブンッ

天はわれを見放したあああぁあああああぁああ
あああ

わーーーッ

……
ぐすっぐすぐすっ
もうおわりだ…
グズッ……
ピンポーン
ピンポーン
…？

アキくん
どうしたの…？
なんかすごい
音と…
その…
叫び声
みたいのが…
一人なの
……？
う…うっ…
うひっ
大丈…ぶっ…
うん
大丈夫じゃ
ないよね？
よかったら
話してよ
誰かと
話すことで
楽になる
こともあるよ？
……じつは

はあ…
なるほど
つまり
今回はとうとう
アシスタントさんが
誰もいなくなった
…と……
なんか
そういうと
逃げられた
みたいに
聞こえます
けど…
まあ…
そういう
コトです

でも昔は
一人で
描いてたん
でしょ？
それは
そうなんです
けど…
アシスタントを
使うように
なると…
もう一人では
描けない
カラダになるん
ですよ……
人は
弱いもの
なんです

少なくとも…
誰かがいないと
モチベーションも
あがらないと
いうか……
フーン…
めんどくさい…

そうだ!!
それなら！

私が
アシスタント
やったげるよ!
は!?

いや…そんな
…でも……
もちろん今夜
ダンナさんが
帰るまでだけど

簡単な
お仕事なら
できるよきっと!
ていうか
いっぺんやって
みたかったんだ
――

……

…そうですね
まあ…
ベタホワなら…
できるかも…
そうだな…
ほんと!?
じゃあ
じゃあ!
このまま
一人で
やってるより
……
はい
おねがい
します

じゃあ説明をするので…
あ 服そのままでいいですか？
うんこのままで大丈夫！
それに先生でもココに一緒にいてくれたら
えーとじゃあ机はこの隣の席で
おおーナナメになってるー！！
ちゃんとサボらず仕事できる気がする…！

――とまあそんな作業を…
ふむふむ
まずはこの枠のまっすぐの線を入れていけばいいのね
ですです！

できそうですか？
これくらいならたぶんできる！大丈夫！がんばる！
じゃあ始めましょうか
はーい！

がんばってね！
先生!!
え？
えッ…
なに
驚いてんの
先生でしょ
ここでは！
あっ いや…
そう…
なんですけど
テレ
ハハ…
がんばります…
うん！
ああなに
この感じ
うわあ
さっきまでの
絶望感が
ウソみたいに

なんだか
幸せ空間じゃ
ないか
カリ
カリ
カリ
カリ
カリ
おハミでた…
タタ
ミ
外は
いいですよー
あとでホワイトしますし
ほぼ一人の作業…
じつは
状況はべつに
変わってないのに
こうして先生と
二人で仕事
できるだけで
カリ
カリ
カリ

こんなにも
カリ
カリ
カリ
幸せ……
カリ
カリ
カリ
カリ
カリ
どうしました？先生
あ
えっ

なにか
わからないコト
ありました？
あ
ううん
ちがうの！
大丈夫
大丈夫！

でも
アレですね
二人とも
お互い
〝先生〟って
呼び合うの
なんか
シュール
ですよね
あ…っ！

じゃあ…
アキ先生は
私のこと
名前で呼んで
くれても
いいんだよ
な…
なまえ…って
じゃ…
じゃあ…

こ…このページもベタお願いします
ま…
まこと……ッ
………
いきなり…呼び捨て…？
いいけど…さ

カァ
カァ
ふう――――

すごいねー
いつも
座りっぱなし
で……
こんな
長時間…
ハハハ
慣れですねェ
――
腰は
いたいけど

それにしても
……
こうして
先生の絵を
みてると…

ほーんと
おっきいオッパイ
好きなんだねー
は!?
いやいや
それはほら
読者のニーズ
っていうか…
でも
好きじゃなきゃ
描けない
でしょー?
……ッ
わくわく
わくわく

…まあ…
そりゃ…
少しは……
あえて
言うなら…
その…先せ…
まことさんの…
ようなー…
その…
バストが
……
そーいえば
さっきから
気になってるん
だけど——
無視
ハイハイ?
ところどころ
まっしろな
コマが
残ってるの
これは
なんで?
あー
それは…
女の子の
キメの絵で
……
まだ
イメージが
固まってなくて
保留で…
イメージ
ほー
まあ早い話
ポーズが
難しくて
描けないって
いうか…
早く
描かなきゃ
だけど…
………
………
?
なに?

まことさん
モデルやって
ください
はあああ!?

いやっ そんな
わたしっ…
そんな…
こんな腹だし
……っ
あーべつに
そのままで
いいんですよ

ただ
カラダの
ラインの
流れとか
腕とか
足の位置を
ちゃんと
見たくて

お願い
しますよ
ココ描けないと
進めないし…
………
じゃあ
かんたんに…ね

わぁい
じゃあ さっそく…！
そこに こんな感じで けだるく…
こう？
そう そんで 手をうちに して…
こうね？
で 左手を こう…
こっ…こんな ひねるの…？
苦し…
………

ちょっとこう……

パンツ みえないように スカートを おさえる かんじで…

こ…こんな？

あっ そうー

そんな！

ああ…
このまま
この時間が
続いたら
いいのに…
!
ダンナさんだ
ごめん
あ
いえいえ
はいはーい
どうしたの？
…そうだよな
そう願っても
先生は既婚者
……

多くを望んではいけないのだ…
え？
そうなの？
いまから急に!?
…うん わかりました
ね アキくん
は
――……
くるっ
今日 わたし ここに
泊まっていこうかな…？
は!?

RAKUJITSU-NO-

PATHOS

4コマのパトス

あっ

ちょっとハミでちゃった…
ゴメン…
そのくらいなら大丈夫ですよ〜
ビックリした〜

ああっっ!!!
こ…っ今度は何です!?

私…ベレー帽持ってなかったわ…
まことさん時間ないんで手を動かしてください
いりません

〜〜〜〜〜〜ッ
ヴヴヴヴ
んっ
ぐっ…
んくっ
第70話
ファーストネームで呼んじゃうの？
ッ
…ッ

ん…

ふっ……
……ッ

はっ
はっ
はぁ
はぁ
はっ
はっ
はぁ
すっ……
はぁ
はぁ

すっかりこれのお世話になるのが…
日課になってしまった……

おそるべしエロ文明…
ていうかいつ番そう…
とはいえ…こんなコトバレたら生きていけない…

ま…トナリには聞こえないとは思うから…
がんばって声おさえたし

!?

天はわれを見放したああああ
わあああああああ
?
!?
なに!?コワイッ
え?
今の声…アキくん…?
ケンカ…?
…にしては他の声もないし…
……
おたしの今のオナニー…は
かんけいないよね…?
…うんないないぶねっうん
まあ…
ちょっと行ってみるかな…
心配だし…
ピンポーン
アキくーん…?
ふあーい
……

は――

なるほどー

つまり…

とうとう今回はアシスタントさんが誰も来なくなったと…

でも昔は一人で描いてたんでしょ？

それはそうなんですけど…

アシスタントを使うようになると…

もう一人では描けないカラダになるんですよ

……

フーン…

エラくなったもんね…

誰か一緒に仕事してないとモチベーションが上がらないというか…

※アキくんの個人的な見解です

だれか一緒にいればいいってんなら…
私でもいいんじゃない?
はぁ
マンガのおしごと!!
ちょっとやってみたい!
今日もヒマだし
ねえ それなら私がアシスタントやってあげるよ!
はっ!?
いやでもっ
もちろん 今夜ダンナさんが帰るまでだけど
簡単なことならできるよ きっと!
やってみたかったんだよ!
じゃあ… そうですね ベタホワとかならできるかも
ほんと!? じゃあじゃあ!
――とまぁ そんな作業を……
ふむふむ この枠の線をまっすぐ引けばいいのね
ですです!

じゃあ始めましょうか
はーいっ！

！

がんばってね先生!!
えっ
なにおどろいてんのーセンセイでしょー
あーそりゃそうですけどー
なんかー
わぁなんかフシギ

私がアキくんを「先生」なんて
あのころは私が先生って呼ばれて
私の生徒だったアキくんを
いま逆に・先・生・って呼んでる私
うわ——

やだ
ちょっと感動してる
うわー ハミだしたー
大丈夫ですよー 少しなら
シャッ
シャ
カリ
カリ
カリ

カリ
カリ
カリ
カリ
アキくん
仕事
してるとき

こんなカオ
するんだ…

大丈夫 大丈夫!
やばいやばい…
アキくんに 見とれちゃう なんて…
それにしても 二人とも お互いを 先生って呼ぶの
ちょっと シュール ですよねー
あら
でも… なんか仕事 してるときの アキくんは
いつもと 違って…
ちょっと… ちょっとだけ
じゃあ アキ先生は 私のこと 名前で呼んでも いいんだよ?
えっ な…なまえ って… じゃあ…
いつもより

こっ…
ここのベタを
お願いしますね
……ま…
まこと…っ
あ……
名前で…
呼び捨てで
……ッ!?
いま…
こんな…
不意打ち…っ
あああ…っ
だめ…
だめ…
落ち着いて
……

い…っ
いきなり呼び捨て…？
いいけど…さ
よし…！
うわあああすいませんすいませんっ
ペコ
ペコ
ペコ
ペコ
あっいやいやいいからいいからっ
なんとか…体面は保たれた……!!
こーゆートコこのコはほんとズルいというか
じゃあ昔の呼び方の「まこっちゃん」で…
それはそれでな…
油断ならない…

カァ
カァ
そう――ほんと
油断ならないのは
…まことさん
モデルやってください
はぁぁあああ!?
いやっそんな…でもこんな服だしっ
そのままでいいんですよ――
カラダのラインとか腕とか足の位置をみたいんで…
おねがいしますよーう
こういうとこ
――…じゃあ…

しれっと
モデル
やってくれ
なんて
こんな…？
あっ そう！
いい感じです！
こんな
断れない
状況でフツー
言う？

まあ…
私もそりゃ
ちょっと
楽しんでる
とこはあるけど…
あんな
うれしそうな
カオして…

ほら…
こういうの
アキくん
見たいんでしょ…？
あ
スカートあがってきちゃう…
ギュウ…
グッ
ヤバ

あ
そう…
こう…その…
スカートの中
見えないように
おさえる
かんじで…
はふ
見えない
ように…って?
ほんとは
見たいくせに
あ
ちょっと
ダメ…
あたしの
アタマ
こう…?
暴走
してる…!

トゥロロロ
トゥロロロ
トゥロロロ
!
…

あ
ダンナさんだ
ごめんね
いえ
よかった
これで
ちょっと
クールダウン…
はいはーい
どしたの?
めずらしい

あーごめんな
今日から急に
また出張に
なっちゃって
え
そうなの?
いまから
急に?
帰るの
明日になるよ
そうなんだよ
――
なんか…最近
こういうの
多いな――
うん…
わかりました
じゃあ
そういう
ことでな
また明日
連絡するよ
はーい
まあ…
いいんだけど
……さ
なんか

なんか…
なんだろ
仕事とはいえ
…自分ばっかり
外であちこち
いって…

………
…そうよ
今日は
私だって
…これ

仕事…
だよね…
ねえ
アキくん
今日 わたし
泊まって
いこうかな
……？
は!?

朝までいっしょにがんばろうよ

ね？

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

RAKUJITSU-NO-

PATHOS

第71話
これって彼シャツっていうやつなの？

ぬり
ぬり
やっぱり
ほら
〝マンガ家〟っていうと〝徹夜〟ってかんじじゃない？
カリ
カリ
カリ

あー
そうですねー
やっぱ そういうイメージですよねー
みんなそうじゃないの？

いまはねー
身体のこともあるんで徹夜しない人も多いみたいですよー
そうなんだ
じゃあそれでなんとかなっちゃうんだ!
うう…
まあ…なんともならない僕みたいのは
いまだ毎回徹夜になっちゃうんですけどね…
これ…っていつまでに終わらないとダメなの?
明日の昼…ですかね
昼!!

えーと…いま6時だから…
あと18時間…？
コッチ
コッチ
コッチ
コッチ
コッチ
ですね…

……
ペラ
これ…おわるの…？
私のトコに白っぽいページが15枚くらいあるけど…
………

…先生のがんばりにもかかってます！
ベタの！
にっこり
……ッ

う…うん！
でも大丈夫！
ベタ？も慣れてきたし！
ガガガっとやっていくよ!!
わあ
たのもしいなあ〜〜〜〜〜！
じゃあ 次はちょっと大物なんですけど…
ビルの小さい窓の中を指定通りベタで潰していってください
ちょっと細かいですけどお願いしますね
ほ…ほほう…
けっこう…細かい……ね
あ 大丈夫ですよハミ出したらホワイトで直してくれたら
ホワイト…ね
がっ…がんばる…！
ハイ！がんばりましょう〜〜〜〜

なんて話してたのがついさっきのような
とっぷり
はるか昔のような…

9時って……もう6時間以上こうしてるの……？
進んでる気がしない…
ちょっとツライ…

なにか変化がほしい、
なにか…
ん？
じゅうううう

そうだごはん！
ごはん食べてないよ！
ちょうど良いじゃん！休憩がてら晩ごはんとか！

そう…ちょっと外食とかで楽しく…
ねェー　アキ…先生先生！
そろそろ晩ごはんを…!!

しーん・・

アキくん!!アキくん！
しっかりしてッ!!
はっ

……

すこし…ねました…
フフ
もう…大丈夫…
フフ
フフフ
……

あっ　そうだ！
ねえ　そろそろ夜のごはんを……

あ
ここに買ってあるんで
好きなのをどうぞ
ガサ
えっ…

おにぎり…と栄養ドリンク……

あの…ちょっと食べいくとかこう…
あははは そんな時間あるわけないじゃないですかあ

……
なんか…
ぐず
ずずず

思ってたより
……シビアだ……！

コッチ
コッチ
コッチ

コッチ
コッチ

やば…
寝かけてた…
コッチ
コッチ
3時か…

もうすでに
12時間を
超えてる…
ちま
ちま
ちま
ちま
ちま
ちま
ただ黒く
塗りつぶす
だけなのが
こんな
つらいとは…

アキくんは
……
チラ

ずっと
寺尾聰の
シャドー・シティを
歌っている…
トゥルル
フラーン
カリ
カリ

そりゃ
そうよね…
私より
ずっと前から
……
起きっぱなしで
仕事して…
ズズ
壊れちゃう
よね……

私も気をつけないとあんなふうに……
グッ
トゥルルル♪
ル…？
ビチャ ビチャ ビチャ ビチャ ビチャ ビチャ ビチャ
あああ先生ッ
まことさんまことさんっ
起きて！
起きて——!!
はっ
ビチャ ビチャ ビチャ ビチャ

あっ…
あっ!?
やっ
なんで!?
うわっ
服が…
うわあああ
原稿ッ
原稿
大丈夫かなっ
濡れてない
かなっ
ああ
よかった!
無事!!
濡れてないっ
よかった!
……

あっ…先生もコーヒー冷めててよかったですねー
ヤケドしなくて…
……
……うん
まあわかってるよいまは
そうよね…私よりりね…

にしても…どうしよう……これ
きもちわるい～…

あの…じゃあシャワー浴びたらどうです…？
眠気も飛ぶし…
シャワー

でも着替えが…
アキくんなにか着るものある？

着替え…
あ
僕のTシャツはもうこの修羅場で…全く洗濯してないし…
そうだ！
ちょっと待ってくださいね…
ここにたしか…
ゴソ
ゴソ
あった！
ワイシャツ……？
やーなんかあったとき用のなんですけど
クリーニングしたまんまなんでキレイですし

ん…まあ
これしか
ないなら
……いいか
じゃあ
シャワー
借りるね
どうぞ
どうぞ
………

のぞいちゃ
ダメよ
ヤッ
ビクッ
やだなあ
そんなヒマも
余裕も
ないっスよ！

パタン
ふう…
ニュル

はあ――……
ちょっと生きかえ…る……
……

帰れば よかったじゃん!!
ウチ となりじゃん!
なんで アキくんちで シャワーしてんの
なに服 借りてんの
アキくんの 部屋で… シャワーなんて ……
まるで これじゃ…
まるで 私が…
アキくん とこで……
あ……っ

は
アキくんとこのシャワー……うちより…
………
水圧…
高い…ッ
ドシュワァァァァァァァァ
あっ
同じ階なのに
……
ムニュ
ジャー
ジャー
ジョボ
ジョボ
ジョボボボ
ジャー
ジャー
ジョボボ
ビシャー
ジャー
ジャ。
ジャー
あ…っ

――って！
アカンて！
なにしてんのとつぜん
ガチャ
……
眠くて疲れておかしくなってるな……わたし…
人んちでこんなこと…
…ワイシャツ……か
私もこんなの着るの…
教師のとき以来かも…
ゴソ…
――!!
あ……！そっか…
ブラもコーヒーで……！

シャワーありがとね――
あ　はい
いえ
シャツもありがとね
洗って返すから…
……
?
どしたの?
あ…いえ…なんか…先生…まことさんのシャツって
なつかしいな…って

あー
やっぱり？
私も思ったのよねー
よしよし…タオルで自然に隠せたし！
だって先生やってたころ以来だもんなー
こんなの着るの
…ちょっとシャツきついけど…
でもシャワー浴びたらちょっとスッキリして目が覚めたかな
ぎゅむ
あ
それならよかった

だってアキくん
ずっとシャワー
ってかお風呂…
入ってない
でしょ…？
だから
…その……

えっ
えっ!?
そっ…
そっか
たしかに…
におう!?
におい ます!?

A LITTLE.

シャワって
きますッ
はーい

はあ…
…にしても……
ほんと思った以上に
ゴロン…
大変なお仕事だねェ……！
正直…サークルやってるみたいな……
和気あいあいとした…
あんなかんじイメージしてたのに……
こんなに…たいへん……
ムドッ…
………

ギシ…
あれ…？
せんせ…
まことさん……？

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

4コマのパトス

ま……
まこと…っ
ズキュウウーン

って…呼ぶのキンチョーしますね…
ドキドキドキドキドキドキ
呼ばれるほうもキンチョーするよ…

じゃあ昔の呼び方の…
「まこっちゃん」…？

マシュマロデカメロンちゃんで……
誰だ呼んでた奴

第72話 先生…御開帳ですね？

せんせ……
まこと…さん？

寝ちゃったのか…
そりゃそうだよね
慣れない仕事に
こんな長時間…

しばらく休んでもらおう…

!

あれは
あの突起は
ノーブラ!!
ノーブラのちくび!!

そうか…
コーヒーでブラまで濡れちゃったからか……
うわー、僕のシャツ胸だけキッツそう……
あ…
これ…このかんじ……
あのときの保健室と……
同じ光景だ……

あのときも
先生は
ノーブラで
汗ばんで
だから……
乳首の色が
うっすら
滲んでて……
つぅ
……
あのとき……
あのあと
すごく後悔した

衝動にかられて行動するのが
いかに危ういことか
だから…
触っちゃだめだ…
そんなコトしたら…いくら今仲良くても
またあのときのくり返しだ
だから…
せめて

せめて
ちかくで…
はっ
はっ
はぁ
すこしでも
近くで……ッ

いい匂いがする…
は
は
ああ…ここが乳首…
このオッパイは何度も…
何度も
何度も
何度も
触ったことがあるけど……
じつは乳首は
でも暗くて細かいとこはよく見えてなくて…
H(エッチ)してるのを覗いたときに遠くから見たくらいで
ちゃんと見たことないんだよね…

!
ここ……
ボタンが
タテに…
これ…
これなら
指で弾いたら
……
外れるんじゃないか……!?
そしたら……
そしたら
先生の…
ち……
乳首が……ッ

グッ
ビッ
惜しい！
は
はっ

じっ…
ビクッ

あっ…
いや
そ
あの
えっと…
………
アキくんて…変わんないね………
…
いっつもスキあらば…
私の胸……
だっ…
いや…っ
でも……っ

こっ……
これ……この状況…あのときと同じで…
やっぱり…気になっちゃって……
あのとき……?
……保健室の…
あ……

ほんとに…ねェ…
僕……
同じだなァ…
あのときと
同じ……
失敗を
また

あのとき…
先生にあんな
いやな思い
させたのに
……
いやな…？
……
アキくん
ちがうよ

べつにわたしね
あのときそんな
イヤな思いなんて…してないし
それにあのときは私が〃先生〃だけど
いまは
アキくんがセ・ン・セ・イでしょ…?
だから

センセイが……資料として
私が必要なら
希望に……応えましょうか……?
資…料……ぼ……僕の作品の
作品の……そっ…

そうだった！
こんなことしてる場合じゃない…ッ
原稿が……ッ
原稿やんなきゃっ
ちょっ
"こんなこと"って
かぁっ

なによッ
わたしが
ここまで
がんばったのに
その言い草ッ
えっ
ガッ
ドュ
ボ

んっ

ガバッ
――ッはッ

拝ｯ
なに拝んでんの
リアクション
おかしいしッ
ビバシッ
はう
だってっ
!?
ビクッ
せんせーい
あっカギあいてる
ガシャン
やっぱ来ました──!
いやー発売日にあわててやる程のゲームじゃNー…
じゃなくてー風邪も大丈夫だし
キィ

あれっ お隣さんだ！

そっ そうなんだ！

もう 手伝ってくれるの誰もいなくて急遽！

おっ おつかれさまー

じゃあ 僕の席は……

あっ 今回はこっち使って ほら！

……

わあ チーフ席っスか！ ギャラも上がるっスねー

ギュ

ギュ

いや 上がらないけどね

あれー？ お隣さん シャツの上に Tシャツっスか？

あー…… あーうん ちょっと寒くてねー

えー 風邪っスかね イヤっスよ うつさないでくださいよー

ホオ赤いしー

……

……

まあでも なんだかんだ ミツアキ君が 来てくれたので

「落日のパトス」第⑩巻／完

RAKUJITSU-NO-
PATHOS

4コマのパトス

マンガってどうやって描いてるの？
まずネームという作業でストーリーやセリフ、構図を決めていきます

それから下描きに入ります
人それぞれですがある程度ていねいに描いておくとペン入れが楽になりますよ

そしてペン入れ
下描きの線を参考に整えていきます

つまり同じ絵を何回も描くってこと!?
えー!?
ほら出来た☆

あとがき
10巻です！ とうとう2桁巻数になりました！
ひとえに読者のみなさまのおかげです。ありがとうございます！
この2人の関係をもうしばらくお楽しみ下さい！
2020.12月
まあまあな積雪のあった朝に。

RAKUJITSU-NO-PATHOS 次巻予告
舞台はスーパー銭湯へ―。
盛り上がるガールズトーク。
飛び出す本音。
ウチから敗釈のスーパー銭湯に一緒に行くことになったのだけど
……
まさか
わー
いろいろお風呂あるっスね
エ…エリさん
毛ッ毛が…
ダンナさんになんか言われないんですか？
では
アキ先生はどうっスかねぇ！？
この3人で隣にとは
ちょ…ちょっとだけカッコイイとこもありません？
わあどんなひと!?ききたあい！
まあ…
これまで付き合ってきたりした人は？
いるんでしょ？
やさしいっていうか…
放ってるっていうか…ね―
ハハ
禁断の隣人愛欲物語。

話題の本人の登場とアルコールによって
彼女たちの感情は更に剝き出しに…。
いまのアキセンセは
2人にとってどうなんスか？
ですってー アキセンセー
は？
あの地味な筋肉君が
すっかりセクシー!!
みんななんだかんだアキ先生がすきで
まわりにいるんスよ
スカートがずり上がって生フトモモに!!
んんん…
アキくんは
愛されてるなァ……
そして帰り道には
欲望と肉体まで剝き出しになり…!?
淫らと淫らの邂逅…。
『落日のパトス』最新第11巻を乞うご期待。

は
すっ
ギシッ
ギシッ
あっ
グチュッ
クチュ
クチュッ
ギシッ
え？
モデル？
女子便所
あ
ああ…
あ…
あ…

■ヤングチャンピオン・コミックス■

落日(らくじつ)のパトス⑩

2021年2月25日　初版発行

著　者　艶々(つやつや)
©Tsuyatsuya 2021

発行者　石井健太朗

発行所　株式会社 秋田書店
〒102-8101　東京都千代田区飯田橋2-10-8
☎編集(03)3265-7362　販売(03)3264-7248
製作(03)3265-7373
振替口座　00130-0-99353

印刷所　三報社印刷株式会社

Printed in Japan

ISBN978-4-253-14080-5

デジタル版　2021年発行
製作所　デジタルカタパルト株式会社
http://www.digital-catapult.com